

問い合わせ先
水島海上保安部 航行安全課
航行安全課長 富樫 広太郎
電話：086-444-2967

玉野海上保安部 交通課
交通課長 新家 康弘
電話：0863-32-3589



令和5年1月26日
水島海上保安部
玉野海上保安部

令和4年 岡山県沿岸の船舶海難及び 人身海難の発生状況（速報）について

- 船舶海難45隻（令和3年比6隻減少）
 - ・過去5年で最小（H30と同数）
- 人身海難45人（令和3年比9人減少）
 - ・マリナーに伴う海浜事故は過去5年で最多

注意1：数字は、水島・玉野海上保安部管内の集計であり、岡山県の行政海域とは一部異なります。

注意2：発生数は速報値であり、事故調査結果等により増減する場合があります。

1 船舶海難発生状況

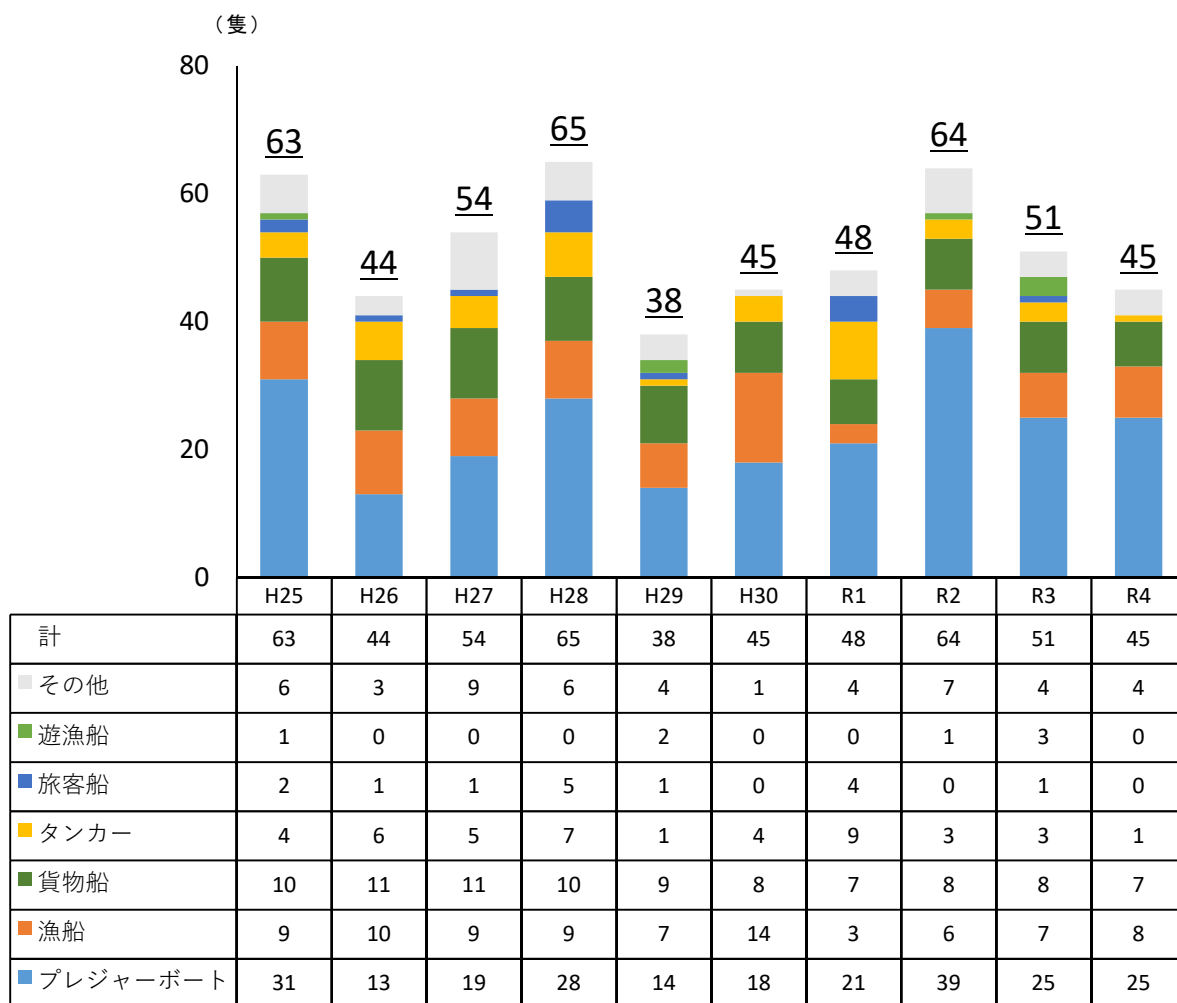
(1) 令和4年 船舶海難発生状況（単位：隻）（死者・行方不明者なし）

		船舶種類					計
		プレジャー ボート	漁船	貨物船	タンカー	その他※1	
海難種類	運航不能※2	10	2	0	0	0	12
	衝突	3	2	2	0	1	8
	乗揚	6	0	1	0	1	8
	単独衝突	0	0	4	1	2	7
	火災	0	3	0	0	1	4
	浸水	2	1	0	0	0	3
	転覆	2	0	0	0	0	2
	その他	1	0	0	0	0	1
計		24	8	7	1	5	45

※1 その他：曳船、台船、起重機船等

※2 運航不能：機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏等により航行に生じた船舶海難のことをいう。

(2) 船舶種別別船舶海難発生数の推移 (単位: 隻)



(3) 主な事故事例

① プレジャーボート転覆海難

発 生 日 : 令和4年9月4日

場 所 : 倉敷市水島港沖 (水島海上保安部管内)

船舶種類: プレジャーボート (全長 3.75m)

海難種類: 転覆

概 要 : プレジャーボートにより海上で釣りをを行い、帰る途中、突風により転覆し乗船者3名が海上に投げ出された。乗船者3名は転覆したボートの船底にあがり、118番通報し、巡視艇にいかぜにより転覆船の船底にいる3名を救助。また、船艇も同巡視艇により曳航救助された。

そ の 他 : 事故当時は北東の風5メートルであり、瀬戸内海海上風警報が発表中であった。



② プレジャーボート乗揚海難

発 生 日：令和4年11月26日

場 所：玉野市番田沖（玉野海上保安部管内）

船舶種類：プレジャーボート（全長 7.89m）

海難種類：乗揚



概 要：魚釣りのため漁場に向け航行していた1名乗りのプレジャーボートが見張り不十分により海苔網に乗揚げた。乗船者に怪我等は無かったが、プロペラが網に絡み航行出来なくなった。

そ の 他：事故発生は日出前であり、海苔網が設置されていない夏場のGPSの航跡記録を基に漫然と航行していたものである。

（4）船舶海難の傾向と対策

例年、船舶海難の約半数がプレジャーボートによる海難です。

プレジャーボートの海難を海難種類別に見ると、機関故障、推進機障害、バッテリー過放電による運航不能海難が最多となっています。

このような状況を受け、引き続き、プレジャーボートの所有者等に対し、

☆発航前検査の徹底

☆整備事業者による定期的な点検整備

を推進していきます。

また、衝突や、転覆を防止するため、

☆常時適切な見張りの徹底

☆最新の気象情報の入手

なども呼びかけていきます。

なお、プレジャーボート海難のうち、ミニボート（長さ3m未満で、機関が1.5kW未満の船舶 免許不要）の海難が令和元年以降、増加しています。

令和元年：1隻 令和2年：1隻 令和3年：2隻 令和4年：3隻

そこで、玉野海上保安部では令和5年2月26日（日）に、小型船舶操縦免許を受有していない方を対象に安全教室を開催します。

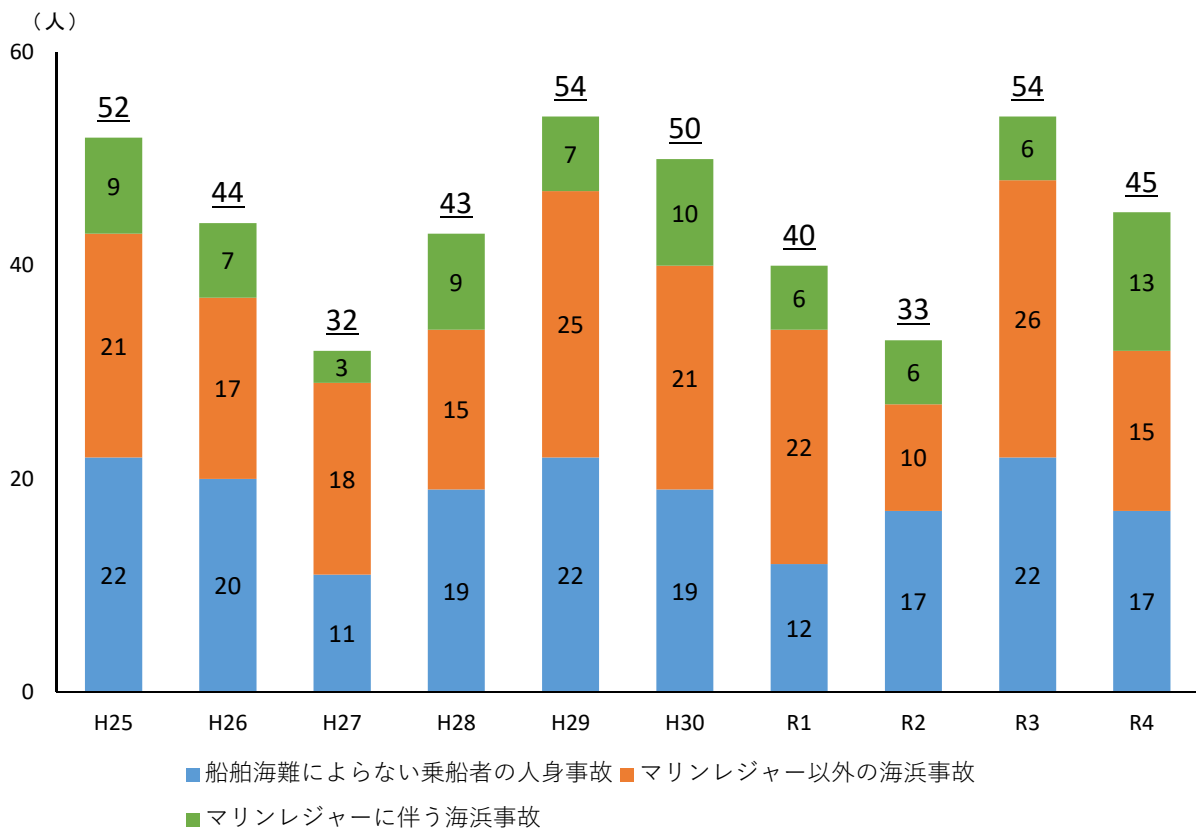
2 人身海難発生状況

(1) 令和4年 人身海難発生状況 (単位:人) (括弧内は死者数)

		事故区分			計
		船舶海難以外の乗船中の事故	マリンレジャー以外の海浜事故	マリンレジャーに伴う海浜事故※	
事故内容	負傷	8	1	1 (1)	10 (1)
	自殺	0	8 (8)	0	8 (8)
	溺水	0	1 (1)	7 (1)	8 (2)
	病気	7 (1)	1	0	8 (1)
	海中転落	1	4 (1)	2	7 (1)
	帰還不能	0	0	3	3
計		16 (1)	15 (10)	13 (2)	44 (13)

※マリンレジャーに伴う海浜事故内訳: 遊泳中9人(うち死者2人)、磯遊び中3人、釣り中1人

(2) 事故区分別人身海難発生数の推移 (単位:人)



(3) 主な事故事例

① 遊泳中の溺水（4名）

発 生 日：令和4年8月18日

場 所：倉敷市大畠地先（水島海上保安部管内）

事故内容：溺水

概 要：事故者4名（姉妹、姉の子（男児、女児））は、岡山県倉敷市大畠所在の下電ホテルに隣接する砂浜から約15メートル地先まで続く海面に浮くマット状の遊具の沖側で海中に入って遊泳を始めたものの、子供2名が疲れて溺れかけ始め、これを姉妹が助けようとマットへ上げようとするも、子供がしがみつき上げられず、姉妹が溺水に至ったもの。その後、姉妹が助けを求め叫び、聞きつけた現場にいた数名で救助された。（4名とも生命に別条なし）



② カヌー乗船中の病気

発 生 日：令和4年7月1日

場 所：瀬戸内市青島沖（玉野海上保安部管内）

事故内容：病気（熱中症）

概 要：事故者（20代、男性）はカヌーに単独で乗船し、魚釣りをしていたところ、熱中症により気分が悪くなったことから、青島に上陸し木陰で休息したが回復しない為、救助要請し、病院に搬送された。



(4) 人身海難の傾向と対策

例年、遊泳中の溺水・帰還不能や、釣り中の海中転落・負傷事故が多く発生しており、原因別では自己の不注意が多くを占めています。

このような状況を受け、遊泳をされる方に対し、

☆開設された海水浴場での遊泳

☆飲酒後の遊泳の禁止

☆最新の気象情報の入手

を推進していきます。

また、釣りをされる方に対しては、

☆救命胴衣の常時着用

☆防止パッケ入りの携帯電話等の連絡手段の確保

☆118番の活用

☆家族や友人等に帰宅時間を伝える

の励行を呼びかけていきます。

なお、海上保安庁では、海難防止を目的として、灯台等で観測した風向・風速・波高等の情報や、大規模工事の状況を「海の安全情報」としてインターネットで提供しています。